



## ◆ ソーラークッカー in 南極

2日。昭和基地では、もう仕事始めです。今日は設営現場には入らず、持参した太陽光集熱炉（ソーラークッカー）の性能実験を行いました。天気は快晴、申し分ありません。宿舎の横に集熱炉をセットし、まずは水の温度上昇の測定から。15℃だった水は、10分後50℃、20分後75℃、40分後90℃と、新居浜で10月に行ったデータと全く同様の傾向を示しました。次はゆで卵。調理担当の渡貫隊員からこっそりと貴重な生卵を5個も譲り受け実験開始。水温データから30分程度で出来るのではとのアドバイス通り、見事にアツアツのゆで卵完成です。近くを通りかかった岩月隊員が試食。先日、ある隊員のベッド下から出てきた54隊が造った南極の塩をふりかけ、「普通においしい」。そりゃそうですね。気の利いた感想は言えないのか。その後、当然ながら点火実験も問題なく、南極での太陽光の強さをクッカーで検証できたのでした。

野外オペレーションでは、意外にも多くの水を持参します。周囲に清浄な雪や氷河があるのに、と思いますが、それを融かして水にするには多くの熱、すなわち燃料を必要とします。このクッカーを扇子のような折り畳み式にして携帯性を持たせれば、少なくとも野外オペが数多くある白夜の夏期間では有効利用できるのではないかと感じました。装備品の重量を減らすことにもつながります。非常用装備としても役立つのではないのでしょうか。

いっそ、自分で開発して、極地研に高く買っていただきましょうか・・・。



## ◆ JARE57 隊員紹介

石川 貴章 (27) 越冬隊 機械担当 兵庫県出身  
ヤンマー株式会社

県立兵庫工業高校機械科から現職場に就職。主に船の発電機やガスタービンなどのエンジン組立てを担当。ヤンマーは第25次隊より社員を派遣しており、自身3年前から社内公募に応じていた。「南極」は普通に行ける所ではないこと。また、発電機（co-ジェネレーションシステム）の保守・管理が担当だが、様々な仕事を担うため仕事の幅が広がることにも魅力を感じている。例えば、重機や雪上車のメンテナンスなどを勉強するとともに、入社後取得した旋盤など多くの技能検定資格を生かし部品を手作りしたいと考えている。皆さんへは、「**目標をもって、物事に取り組んでほしい**」と、自身が「南極」という夢を持って成長した実感からアドバイス。越冬期間中に海水を凍らせて濃縮させ、塩造りに挑戦するという。面白いアイデアです。



ヤンマー製発電機点検中

## ◆ 野外オペ「S16」

2日。昭和基地から東15kmのS16に行きました。地圏チームの野外オペレーションの出発に合わせ、「とにかく内陸が見たいんです」という無理な要望を聞いていただきました。行って物資を下ろし帰るだけの往復1時間のフライトです。S16は、内陸オペの起点となる場所です。多数の雪上車やソリが置いてあり、ここまでヘリ等で物資を運び、雪上車とソリで目的地を目指します。わずか10分ほどの滞在でしたが、「これぞ南極」という風景を身をもって味わうことが出来ました。



多数の雪上車やソリ

### <しらせ情報>

2月16日(火) UTC時13:14(日本時22:14) 現在  
しらせ 66° 41' S、41° 00' E  
時差：日本時-6時間  
アムンゼン湾に向けて、15knotで東進中

2016.2.17.



360°見渡す限り氷床でした